

修了生の活躍事例

就職に強い四国職業能力開発大学校への 進学が将来の幅を広げてくれました！

小さい頃からものづくりに携わる仕事に就きたいという思いがあり、高校の担任の先生の勧めで、四国職業能力開発大学校への入学を決めました。入学の決め手は、何より実験や実習時間が多く、将来の仕事と直結した専門知識や技術を多く学べるということです。

生産機械システム技術科（応用課程）に進学後はグループワークや開発課題（卒業研究）などを通して、発案・設計・加工・組立調整などといったものづくりの一連の流れを学びました。

四国職業能力開発大学校で学んだ経験から自分の強みを見つけることができ、現在の職場でもその強みを発揮しています。

開発課題をやり遂げチームワークの大切さを実感！

私は、学生時代に開発課題として「画像処理を用いた製品検査装置の開発」に取り組みました。開発1年目の課題ということもあり、構想設計などゼロからのスタートでしたが、最終的には検査装置を仕上げることができました。達成感と共に他科との連携などチームワークの大切さを実感しました。



開発課題で製作した
製品検査装置

株式会社タダノアイレック
製造第1部生産2課職場

芳地 和人 さん (24歳)

四国職業能力開発大学校
応用課程

生産機械システム技術科

令和3年度 修了



機械加工のプロフェッショナルになりたい！

現在、マザック(マシニングセンタ)を担当しています。まだまだ、機械を使いこなせず悪戦苦闘している毎日です。今後は、技能資格取得へのチャレンジやより深い知識の習得に励み、幅広い加工技術を身につけたいと考えています。そして、匠な技術を身につけた暁には、“プロフェッショナル仕事の流儀”の出演を夢んでいます！

就職先企業での活躍

芳地 和人さんの業務

製造第1部生産第2課に所属しており、現在はNC加工機を用いてクレーン部品の機械加工を行っています。また、NC加工機のプログラム作成の勉強中です。

NC機械加工をしている芳地さん▶



上司からの声 製造1部 橋本 康祐 様

四国職業能力開発大学校で機械加工の基礎知識を学んでいる為、適応力が優れていると感じています。入社3年目で、職場にもフレッシュな風を吹き込みました。今後は、大学校で学んだ事、職場で学んだ事を最大限に活かし、更なるスキルUPで機械加工のプロフェッショナルな職人を目指してください。



株式会社タダノアイレック（香川県仲多度郡） 現在四国職業能力開発大学校の修了生が活躍

当社は世界に先進のクレーンを提供する「株式会社タダノ」の製造子会社です。卓越した技術と品質を追求しつづける姿勢によって、世界的なクレーンメーカーの一翼を担っています。「吊る」「持ち上げる」といったLE(Lifting Equipment)、つまり抗重力空間作業機械は、かつて人類が不可能だと思った仕事を可能にしました。それは、大きくて強いだけでなく、人にやさしい機械であるといえるかもしれません。その精神は、クレーンだけに向けられているものではありません。地球環境はもちろん、地域社会や弊社社員に対してもやさしくあるところに、真の創造性は輝くと考えています。私たちは、経営理念「創造・奉仕・協力」のもと、社員一丸となって、いっそう高い技術と品質を求めて参ります。

